

株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、生みそずい(即席みそ汁等)、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第67期中間(第2四半期)報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日



旭松食品株式会社

Asahimatsu Foods Co., Ltd.

▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 **木下 博隆**

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第67期中間（第2四半期）報告書（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果や、消費税率の引き上げ延期決定など、アベノミクスの下支えはあるものの、国内外の先行き不安から消費者マインドが低迷し、節約志向がより鮮明になっております。また、海外経済についても中国を始めとするアジア新興国の景気減速、英国のEU離脱問題など、不確実性が高まり為替変動の影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めない中、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒され、更にフードディフェンスを含めた品質や安全に対する要求に応えるための取り組み強化によりコストが増大しております。

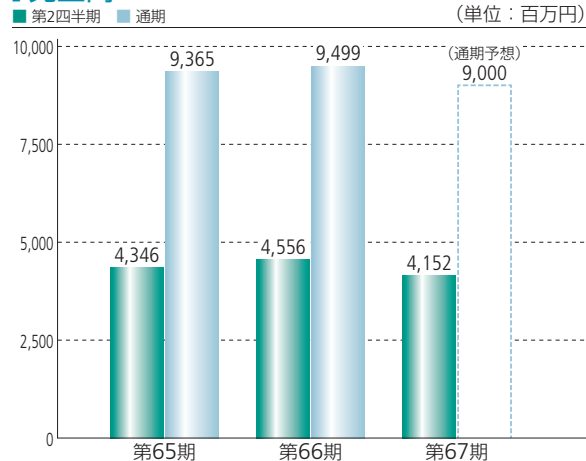
このような状況のなか、当社グループは、利益向上を重点に販売活動を行い、また、売上原価の上昇を抑えるため、生産体制の改善を継続実施するなど、収益力の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は41億5千2百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、市場の拡大を図るため、凍豆腐の健康機能に関して研究を継続して進め、広報活動に注力してまいりました。その内容としては、凍豆腐にはコレステロールの調整作用があるレジスタントタンパクが多く含まれており、その理由を解明した研究論文を業界団体を通じて発表いたしました。また、大学・公的機関などの協力を得て健康食講座や料理教室の実施など独自の普及活動にも注力してまいりました。営業活動でも、凍豆腐を素材として用いた菓子・洋食など新しい調理方法の提案型販売促進を展開し、新規販売チャネル開拓を続けてまいりました。しかしながら大きく伸ばした前年同期の売上には及ばず、売上高は19億6千万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。なお、凍豆腐の新たな機能として長期摂取による糖尿病予防・改善効果について論文発表を行うなど、更なる普及活動に努めております。加工食品においては、単品収益管理の徹底を図り、不採算アイテムの大幅な改廃など収益改善に努めてまいりました。並行して当社独自の特許製法によるアルコール無添加、化学調味料無添加の即席みそ汁シリーズや減塩タイプの即席みそ汁など健康指向の商品を発売しましたが、市場の競争が更に激化しており、売上高は12億7千2百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。その他の食料品のうち、医療用食材はユーザーへの直接訪問を基本とした営業活動を積極的に行った結果、継続して堅調に推移しておりますが、それ以外の売上が減少したため、売上高は9億2百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

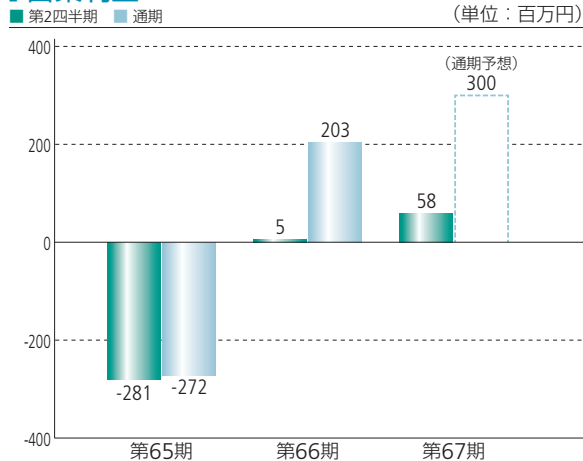
利益面では、販売価格の改善や生産体制の見直し等による収益構造の改善効果が表れており、営業利益5千8百万円（前年同四半期は5百万円の利益）、経常利益6千7百万円（前年同四半期は0百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千1百万円（前年同四半期は2千万円の損失）となりました。

第2四半期連結業績の推移

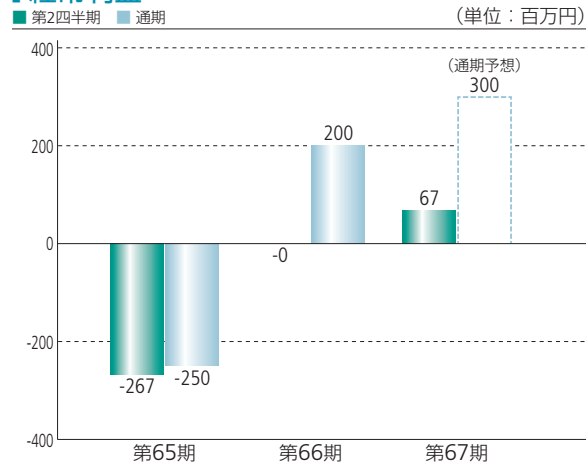
売上高



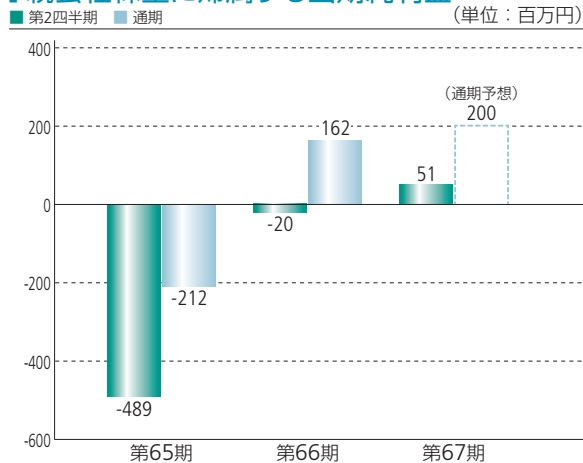
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



第2四半期決算概要

連結貸借対照表

単位：千円（未満切捨）

科目	前第2四半期 (平成27年9月30日)	当第2四半期 (平成28年9月30日)	前期 (平成28年3月31日)
資産の部			
流動資産	4,853,323	4,766,589	5,013,854
固定資産	4,259,010	4,428,191	4,241,783
有形固定資産	3,596,098	3,852,916	3,615,434
無形固定資産	418,502	330,062	384,299
投資その他の資産	244,409	245,212	242,049
資産合計	9,112,334	9,194,781	9,255,638
負債の部			
流動負債	1,700,000	1,929,740	1,796,303
固定負債	1,059,803	1,061,266	1,201,159
負債合計	2,759,803	2,991,007	2,997,463
純資産の部			
株主資本	6,283,290	6,471,628	6,465,952
資本金	1,617,844	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,161,786	3,350,863	3,345,187
自己株式	△128,764	△129,503	△129,503
その他の包括利益累計額	18,560	△308,844	△255,575
その他有価証券評価差額金	18,066	17,438	17,962
繰延ヘッジ損益	△830	△791	△228
為替換算調整勘定	155,125	48,911	121,987
退職給付に係る調整累計額	△153,801	△374,403	△395,297
非支配株主持分	50,679	40,989	47,798
純資産合計	6,352,531	6,203,773	6,258,174
負債純資産合計	9,112,334	9,194,781	9,255,638

連結損益計算書

単位：千円（未満切捨）

科目	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	4,556,299	4,152,515	9,499,509
売上原価	3,385,545	2,970,290	6,933,575
売上総利益	1,170,754	1,182,224	2,565,933
販売費及び一般管理費	1,165,514	1,123,756	2,362,415
営業利益	5,239	58,468	203,518
営業外収益	17,219	12,193	26,420
営業外費用	22,927	3,607	29,043
経常利益又は経常損失(△)	△468	67,054	200,894
特別利益	—	123	2,137
特別損失	4,272	4,376	13,357
税金等調整前四半期(当期)純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,740	62,801	189,675
法人税、住民税及び事業税	14,517	11,679	34,575
法人税等調整額	1,282	△1,615	△8,560
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	△20,540	52,737	163,660
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	86	1,310	886
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,627	51,427	162,774

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円（未満切捨）

科目	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,639	54,210	813,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,246	△401,301	△249,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,958	138,011	△247,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,229	△28,893	△7,711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△68,795	△237,972	309,165
現金及び現金同等物の期首残高	834,373	1,143,539	834,373
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	765,578	905,566	1,143,539

トピックス

世界で初めて!凍り豆腐で糖尿病予防効果を確認

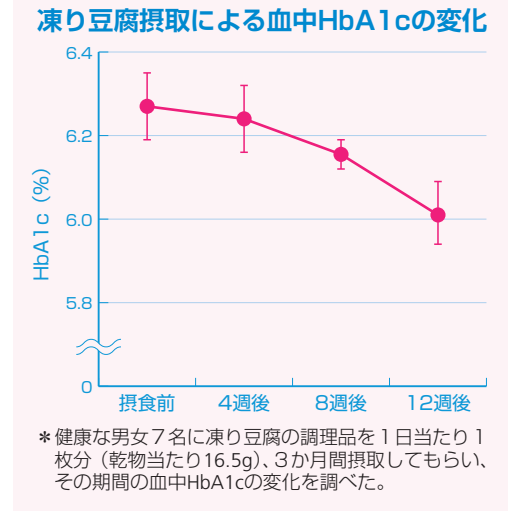
当社では、凍り豆腐の健康機能性に関する研究成果を論文化し、「こうや豆腐普及委員会」を通じて発表してきました。これまでは、凍り豆腐に含まれる成分「レジスタントタンパク」にスポットをあて、コレステロール低下や食後中性脂肪低下など脂質代謝改善効果について研究を進めていました。加えて、この度の研究成果では糖質代謝（糖尿病）にも改善効果があることが示されました。

今回の研究では、市販されている凍り豆腐の含め煮を1日当たり1枚、3か月間続けて摂取した期間の血中HbA1c（糖尿病の指標）を調べました。その結果、図に示すように、凍り豆腐摂取によってHbA1cが有意に低下するという結果が得られました。

レジスタントタンパクが健康機能性を発揮するメカニズムの一つは、腸管内において胆汁酸と結合し、排出させるという効果にあると考えられています。胆汁酸には脂肪の消化・吸収を助けるという役割の他に、体に「食事をした」というシグナルを伝え、エネルギー代謝を亢進する役割があります。このシグナルの伝え方は新しい胆汁酸の方が強いと考えられ、レジスタントタンパクによって胆汁酸を排出し新しく作り変える効果により、より強くシグナルを伝え、エネルギーを消費しやすい体になった可能性が高いと考えられています。

これらのメカニズムの全貌解明に向け、更なる基礎研究を継続してまいります。

※本研究を著した論文：Anti-diabetes Effect of Kori-tofuがJapanese Pharmacology & Therapeutics（薬理と治療）vol.44 no.9 2016に掲載されました。



用語解説

***HbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)について**



高血糖状態が長期間続くと、血管内の余分なブドウ糖は体内のタンパク質と結合します。赤血球のタンパク質であるヘモグロビン(Hb)とブドウ糖が結合したものがグリコヘモグロビンです。このグリコヘモグロビンは何種類もあり、糖尿病と密接な関係を有するものが、HbA1cです。長く糖尿病の指標として使用されてきた「血糖値」よりも、安定した値を示すため、現在では健康診断などでも一般的に使用されています。

会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商号 旭松食品株式会社
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本店 長野県飯田市駄科1008番地
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設立 昭和25年12月19日
資本金 1,617,844,105円
関連会社 旭松フレッシュシステム株式会社
青島旭松康大食品有限公司
青島旭松康大進出口有限公司
新鮮納豆株式会社（連結対象外）
従業員数 グループ人員：347名
当社人員：243名
主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売
主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、
即席みそ汁・スープ類、
医療用食材等
主要な拠点
本店 長野県飯田市駄科1008番地
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
支店 東日本支店（東京都中央区）
西日本支店（大阪市淀川区）
営業所 仙台営業所（宮城県）
名古屋営業所（愛知県）
岡山営業所（岡山県）
福岡営業所（福岡県）
工場 天竜第一工場・天竜第二工場・
飯田工場・伊那工場・高森工場
（以上 長野県）
研究所 食品研究所（長野県）
ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>

取締役及び監査役 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長 木下博隆
取締役 蒲田充浩
取締役 兼 経営企画部長
取締役 兼 品質保証部長
取締役 兼 研究開発統括部長
取締役 兼 研究所長
取締役（社外） 藤森明仁
取締役（社外） 田中健一郎
常勤監査役 佐々木寛雄
監査役（社外） 伊坪眞
監査役（社外） 狩野拓一